

講評

警備室勤務で一日の半分を過ごす暮らし。長明の庵を暗示させます。「方丈記」を引き合いに出して、言葉がそれに頼りすぎた感は否めませんが、時空を超えて社会をとらえようとする意欲がよいと思いました。

(審査員・中島 悅子)

警備室勤務で一日の半分を過ごす暮らし。長明の庵を暗示させます。「方丈記」を引き合いに出して、言葉がそれに頼りすぎた感は否めませんが、時空を超えて社会をとらえようとする意欲がよいと思いました。

(審査員・中島 悅子)

世界を見れば飢餓、饉、
おひただく大地がゆれ動き
山が崩れ、海が傾くのは
元暦の頃と変わらず
いや数万年変わらぬ風を作り出した